



令和 2 年度  
第 1 回保護者会資料



教育目標

自ら考え、学習に励む人  
思いやりと自主自律の心をもつ人  
心も体もたくましく、進んで行動する人

文京区立茗台中学校

〒112-0003 東京都文京区春日2-9-5

電話 3811-2969

FAX 5689-4559

<http://www.bunkyo-tky.ed.jp/meidai-jh>

学びに向かう力 人間性等の涵養  
・どのように社会・世界とかがわり、よりよい人生を送るか

文京区教育委員会 教育目標

「個が輝き共に生きる文京の教育」の実現を目指す

- 「心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
- 自ら学び考え、表現し行動する人
- 社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
- 地域を愛し、共に生きる社会を築く人

育てたい生徒像

茗台中のすべての生徒と共に、仲良くし安心して生活ができる

- ・自分のやるべきことを見つけ、行動できる生徒
- ・授業がわかり、楽しく学べる生徒
- ・自分を生かす場があり、成長できる生徒
- ・支え合い、認めてくれる仲間がいる生徒

茗台中学校 教育目標

- ◎自ら考え、学習に励む人
- 思いやりと自主自立の心をもつ人
- 心も体もたくましく、進んで行動する人

生徒がわくわくして  
登校できる

迎える教員の姿

- 使命感、情熱あふれる教職員
- 人間性豊かで温かみの感じる教職員
- 信頼に満ちた教職員
- 自分を厳しく見つめ、他に思いやりをもてる教職員

保護者・地域とともに  
つくる

活動する教員の姿

- 安心して過ごせる安全な学校
- 保護者、地域に開かれた学校
- 学校の様子がよく分かる学校
- 気軽に相談できる学校

みんなのわくわくを実現する学校

～生徒、教職員、保護者、地域が一体となった「チーム茗台」～

- 安心して安全な環境であり、何事にも生徒たちが中心になって取組み、互いに協力し信頼できる学校
- お互いを尊重しながらコミュニケーションを図り、笑顔で挨拶、声かけが進んでできる学校
- 地域との連携を密にし、協働し合いながら、子供たちの成長が実感できる学校

【知・徳・体のバランスのとれた力を育成するための具体的な取組】

確かな学力の定着

- ①教科ごとに学力調査の分析結果や生徒による授業評価を基に見直しを行い、授業の充実を努める。
- ②数学・英語において少人数授業、習熟度別学習に取り組み、理科ではティームティーチングを行う等、生徒の実態に応じた授業形態及び指導方法を工夫し、個に応じた指導の充実を図る。
- ③タブレット等のICT機器を活用し情報活用能力の育成を図るとともに、協働学習を通して「わかる」「できる」を実感する授業の工夫を行う。
- ④朝の読書活動を実施し、落ち着いた学習環境を創出し、読書習慣の定着と学力の基盤である読解力を培う。
- ⑤基礎学力の定着を図るため、ベーシックスキルアップ学習を工夫し、「終学習」を設定し、国語、数学、英語を中心としたドリル学習を行う。
- ⑥夏季休業日、放課後等に補充教室を実施し、各教科の基礎的・基本的な内容の定着を図る。

豊かな人間性の育成

- ①人権が尊重される社会づくりに向けた具体的な態度や行動ができる生徒の育成に努める。
- ②「いのちと心の授業」やDVD教材「SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料」を活用して生命尊重の心を育てる。
- ③道徳科において、「私たちの道徳」等を活用し、「考え・議論する道徳」を実践する。
- ④「アサーションプログラム」を活用し、一人一人の生徒が生き生きと学校生活を送れるように努める。
- ⑤本校いじめ防止基本方針に則り、人権教育プログラムや、対応マニュアル等を活用し、教職員の研修、アンケートを実施する等、いじめ、暴力行為、虐待の未然防止や早期対応を図る。
- ⑥hyper-QUテストを活用し、いじめを許さないよりよい学校づくりを推進する。
- ⑦学校図書館をメディアセンターとし、豊かな感性の涵養と課題解決能力の育成を図る。
- ⑧学級満足度向上モデル校としての取組を推進し、学校生活適応支援委員会を中心に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、文京区不登校対応チーム、学校サポートチーム、不登校支援文京区モデル等の活用、関係諸機関との連携を深め、不登校等の解消や生徒の問題行動等の早期発見・早期対応を目指す。

健康の増進と体力の向上

- ①東京都生徒体力・運動能力等の結果に基づいた保健体育科の授業改善を推進する。
- ②がん教育を推進し、正しい理解と命の大切さ、自らの健康を適切に管理する力の育成に努める。
- ③外部指導員を活用した武道・ダンス・保健授業の充実や、体力テストの結果を活用して運動能力の状況を把握し、授業改善や学校行事、部活動に生かし、体力向上を図る。
- ④学校保健委員会や地域の医療・保健関係者の協力により健康指導を行い、健康の保持・増進に努める。
- ⑤食育推進委員会を中心に給食や家庭科、保健体育科等教科指導において、食に対する意識の向上と推進を図る。また、和食の日、ドイツ料理の日に食文化を学ぶ大切さに触れ、理解を図る。
- ⑥オリンピック・パラリンピック教育年間指導計画に基づき、「ボランティアマインド」「障害者理解」「豊かな国際感覚」の育成のため、組織的・計画的に推進する。
- ⑦開校60周年の節目を迎えるにあたり、儀式や行事等の教育活動を通して、良き伝統と学校文化を継承する心を育み、意欲的に学校生活に取り組む生徒を育成する。

開かれた学校づくりと保幼小中連携

- ①道徳授業地区公開講座、学校公開、学校行事を通し、本校の教育活動を保護者・地域に公開する。
- ②学校行事・学年便り等の各種印刷物、学校WEBを活用し、広く情報を公開する。
- ③学校支援地域本部と連携し、学校の教育活動に地域の力を積極的に活用する。
- ④こどもまつりや隅田川マラソン等地域行事への生徒の参加を促すよう活動の幅を広げていく。
- ⑤小日向町幼幼幼稚園でのボランティア活動や、後楽幼稚園を始めとした保育園・幼稚園での保育体験、金富小学校での学校紹介や児童を招いた中学校授業見学、進路推進ブロックを活用して小学校との接続を意識した情報交換を行い、連携を深め、中1ギャップの未然防止に努める。
- ⑥小学校との接続を円滑に行うため、入学当初のオリエンテーション及び人間関係づくりの充実を図ったスタートカリキュラムを実施する。
- ⑦9月から11月の学校公開に合わせてオープンキャンパスを実施し、区内の小中学生を対象に学校説明会や授業体験、部活動体験等を行う。

特別支援教育の充実

- ①インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の充実等に努めるため、学校生活支援シート・個別指導計画の作成を行い、指導内容や指導方法の工夫改善を計画的・組織的に行うことで個に応じた指導を推進する。
- ②障害者差別解消法の趣旨を踏まえ、必要に応じた合理的配慮を全教職員に周知徹底する。
- ③区中学校特別支援教室「アドバンスルーム」拠点校として、ハンドブックに基づく運営と生徒指導の充実を図る。
- ④特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育専門家チーム、巡回相談等を活用し、生徒理解の充実を努める。
- ⑤区中学校特別支援教室「アドバンスルーム」拠点校として、学校生活適応支援委員会を週時程に位置づけ、特別支援教育担当指導員や専門員との連携を通して特別支援教育を推進する。また、月に一回、拡大大学校生活適応支援委員会を開き、情報の共有及び支援方法の検討を行う。
- ⑥特別支援教育専門家チーム、巡回相談等を活用し、生徒理解の充実を努める。

知識・技能  
○何を知っているのか  
何ができるか

思考力・判断力・表現力  
○理解していること・できることを  
どう使うか

令和2年度 基本日課表

〔A時程〕		〔B時程〕	
朝読書（予鈴）8：20 ～ 8：30 （本鈴）8：25 学 活 8：30		（予 鈴）8：20 朝 読 書 学 活（本鈴）8：25	
第1校時 8：40 ～ 9：30 第2校時 9：40 ～ 10：30 第3校時 10：40 ～ 11：30 第4校時 11：40 ～ 12：30		第1校時 8：35 ～ 9：25 第2校時 9：35 ～ 10：25 第3校時 10：35 ～ 11：25 第4校時 11：35 ～ 12：25	
給 食 12：30 ～ 12：55 昼 休 み 12：55 ～ 13：15		給 食 12：25 ～ 12：50 昼 休 み （簡易清掃等）	
（予 鈴）13：15 第5校時 13：20 ～ 14：10 第6校時 14：20 ～ 15：10		（予 鈴）13：00 第5校時 13：05 ～ 13：55 第6校時 14：05 ～ 14：55	
終 学 習 15：10 ～ 15：25 終 学 活 15：25 ～ 15：35 掃 除 15：35 ～ 15：45		終 学 習 な し 終 学 活 15：00 ～ 15：10	
一般下校 15：45 （5時間授業日）14：45 （午前中授業）13：30 最終下校 18：30		最終下校 18：30	

週時程

	月	火	水	木	金
1校時	1学	7	13	19	25
2校時	2	8	14	20	26
3校時	3	9	15	21	27
4校時	4	10	16	22	28
5校時	5	11	17	23	29
6校時	6	12道	18	24総	30総

1. 「24総」1年生の1・2学期は、教科の授業を実施する
2. 今年度は授業数確保のため水曜日の6校時も授業を行います。
3. 時間割は時数調整のため、以下の時期に時間割改訂を行う

I期&II期：6月15日～12月25日      Ⅲ期：1月8日～3月25日

4. 1年総合と音楽・美術の授業時数については、以下の通りです

I・II期に音楽・美術を各1.5時間、総合1時間／Ⅲ期 音楽・美術 それぞれ1時間、総合2時間

5. 終学習

1. 目 的 各教科のスキル学習により基礎基本の定着を図る。
2. 時 程 A時程の15：10～15：25でドリル学習と終学活を行う。  
終学習は学年裁量で、行わない場合もある。
3. 内 容 国語、数学、英語の3教科を中心実施。教科担当と連携をとって学年で検討して行う。

6. B時程を活用し、授業時数の確保、ゆとりのある時程の設定をします

・一斉委員会・中央委員会…月に概ね1回実施。・土曜学校公開 ・学校行事の準備 ・諸会議日…等

## 評価・評定について

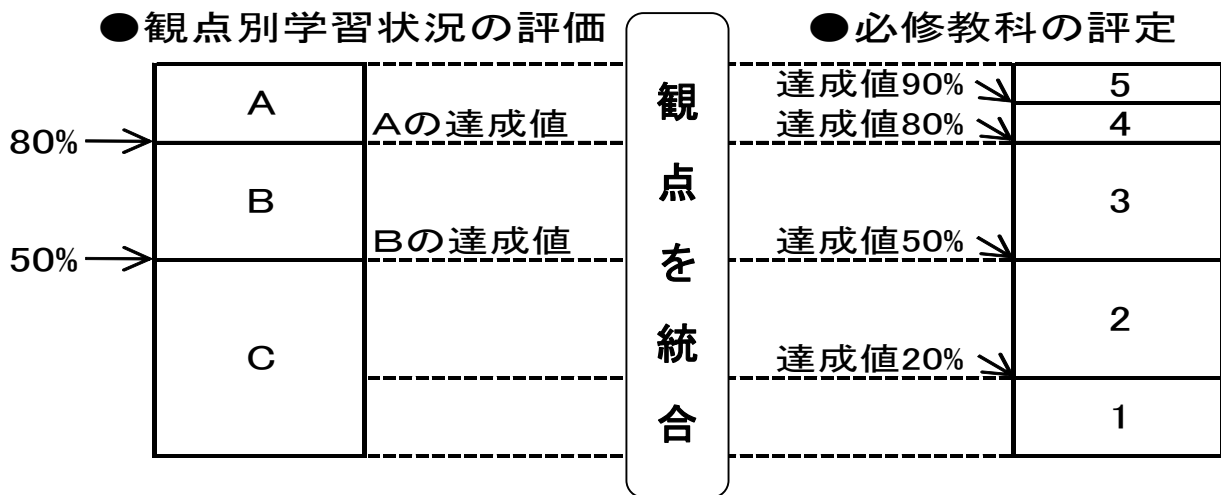
### ◇観点別学習状況の評価……目標に準拠した評価（絶対評価）

各教科で定められた観点の目標に照らして達成状況をABCの3段階で評価します。

- A 十分に満足できると判断されるもの
- B おおむね満足できると判断されるもの
- C 努力を要すると判断されるもの

### ◇評定 ……………目標に準拠した評価（絶対評価）

教科の各観点の達成状況を数値化して合計し、教科としての達成値(%)を求めます。その達成値により5, 4, 3, 2, 1の5段階で評定します。



- 5 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの
- 4 十分満足できると判断されるもの
- 3 おおむね満足できると判断されるもの
- 2 努力を要すると判断されるもの
- 1 一層努力を要すると判断されるもの

### ◇観点別学習状況の評価と評定との関係

教科の評価・評定は、まず観点別学習状況の評価を行います。

その後各観点の達成値を合計し、教科の達成値を求め、それに基づいて評定します。

- ①合計が、その総計の90%以上の達成値であれば、評定は5となります。
- ②同様に80%以上90%未満の達成値であれば、評定は4となります。
- ③同様に50%以上80%未満の達成値であれば、評定は3となります。
- ④同様に20%以上50%未満の達成値であれば、評定は2となります。
- ⑤同様に20%未満の達成値であれば、評定は1となります。

1. 評価・評定については、基本的に、日頃の授業の取組、小テスト、ノート、実技試験、定期考査などの評価方法を用いて、教科ごとの評価基準に基づいて行っています。
2. やむを得ず定期考査が受けられなかった場合、生徒・保護者の希望により、後日、考査を受けることができます。その場合の考査結果については、参考とした上で、「日常の観点別学習状況」を基に、評価しています。

## －安心して楽しく過ごせる学校づくりに努める生徒の育成－

今年度も「挨拶」に対する取組を進め、「挨拶」のみならず、仲間と積極的にコミュニケーションが図れるようにし、校内を明るく元気な雰囲気にするとともに、【安心して楽しく過ごせる学校】を目指します。

「明るく元気に挨拶する」「仲間とのコミュニケーションを大切にする」「思いやりの心をもつ」  
3つのことを、組織的に取り組む。

互いに認め合う心を育て、思いやりをもてる生徒の育成

安心して楽しく過ごせる学校

### 【指導の目標】

- 1 あいさつや礼儀などを身につけ、周囲に配慮できる生徒の育成
- 2 ルールやマナー等の規律をしっかり守り、生活のできる生徒の育成
- 3 たくましく思いやりのある心豊かな生徒の育成

### 【指導の基本方針】

- (1) 基本的な生活習慣の定着と規律ある生活の確立
- (2) 問題行動の早期発見、早期指導と情報共有の徹底
- (3) 生徒の自主・自律の心を育てる
  - ・授業をはじめ、学校のあらゆる教育活動を通して、良い点や改善点等、様々な事を考えさせることで、校内に正論が流れる雰囲気を作る
- (4) 安全で安心できる学校生活の確立

### 【具体的な取り組み】

- (1) 進んで挨拶ができる
- (2) 話をしっかりと聞くことができる
- (3) 時間、時刻を守る
- (4) 身だしなみ、服装、持ち物の決まりを守る
- (5) 他人や周囲の者を思いやることができる
- (6) 校内の環境美化と清掃活動が熱心に行える
- (7) 教育相談・特別支援の充実

## 学習・進路指導

### 1 指導目標

- ・自他共に認め合い、自分の役割を理解して進んで行動する生徒
- ・学ぶことや働くことに対して積極的に取り組み、自分を真剣に考えられる生徒
- ・将来に対する夢や希望に対し、諦めずに努力できる生徒

### 2 基礎学力の定着のための取り組み

- ① 朝読書、終学習の実施
- ② 放課後の水曜学習室、補充教室の実施(学習ボランティアがつきます)
  - ・水曜学習室 → 図書室を利用した自習教室 毎週水曜日  
(定期考査日、始業式、終業式、一斉下校、放課後活動のある日は除く)
  - ・補充教室 → 授業内容の理解が不十分な場合に、学習や質問ができます
- ③ 定期考査前の自習教室、質問教室の実施
  - ・自習教室 → 考査1週間前から前日まで(土・日・祝は除く)
  - ・質問教室 → 考査1週間前の放課後に実施
- ④ 各学期末の学習相談
  - 終業式、修了式の放課後に、成績や学習方法について質問や相談ができます
- ⑤ 学力調査、授業アンケート等の結果を利用した授業改善プラン
- ⑥ 英語検定、数学検定の実施および対策教室
  - ・英語検定 → 【公費(全学年全員受験)】10月2日(金)、【私費】1月22日(金)
  - ・数学検定 → 年2回 8月・10月を予定

### 3 各学年の主な取り組み(変更になる可能性があります)

- 1学年「社会に目を向ける」  
校外学習、職場訪問、職業講話、文京区学習内容定着状況調査
- 2学年「職業について考える」  
マナー教室、職業講話、上級学校調べ、校外学習、TGG
- 3学年「自己の進路を考える」  
進路説明会、面接講座、実カテスト、修学旅行
- 全学年 スペシャリスト講座(専門家による講義)、いのちと心の授業、学習発表会

### 4 平成29年度～令和元年度のおもな進学先

都立高等学校			私立高等学校					
青山	工芸	千早	郁文館グローバル	京華女子	正則学園	東海大付高輪台	新渡戸文化	武蔵野千代田
飛鳥	国際	豊島	郁文館	國學院	成立学園	東京家政学院	日本音楽	茗溪学園
板橋	駒場	戸山	岩倉	駒込	青陵	東京家政大附女子	日本大学櫻丘	明治学院
板橋有徳	小松川	豊多摩	N高等学校	くら国際	大東学園	東京学館浦安	日本大学第一	目黒日本大学
上野	小山台	練馬工業	大森学園	十文字	大東文化大学第一	東京成徳大学	日本大学鶴ヶ丘	早稲田大学高等学院
江戸川	鷺宮	日比谷	小野学園女子	淑徳	滝野川女子学園	桐朋	日本大学豊山	
園芸	産業技術高専	広尾	関東国際	淑徳SC	中央大学付属	東洋	日本大学豊山女子	
王子総合	忍岡	深川	錦城学園	淑徳巣鴨	中央大学杉並	東洋大京北	文化学園大学杉並	
大山	新宿	文京	クラーク記念国際	SDH昭和第一	帝京	東洋女子	宝仙学園	
大泉	新宿山吹	本所	慶應義塾	城西大学附属城西	貞静学園	豊島学院	豊南	
大山	墨田川	穂ヶ丘	慶應義塾女子	城北	天理	豊島岡女子	堀越	
葛西南	総合芸術	向丘	慶應義塾志木	聖学院	東亜学園	二松学舎大附	本郷	
北園	高島	武蔵丘	京華	成城学園	国立		その他	
蔵前工業	竹早	芦花	京華商業	正則	筑波大学附属	東京工業大学附属	国際理容美容専門学校	